

昭和三十五年教練實施情況報告

中央軍事部

一、教練之實施並其進歩ノ概況

ノ一般ノ情況

(A) 本學ハ二期入校制(四月、九月)ニシテ生徒ノ素質ハ一般

ニ中以下ノモノ多ク又夜間部ヨリ轉校者相尙多ク

中ニ全ク教練ヲ受ケザリシ者約5%アリ又半鳴出身

者約20%多敷ニ^{ニ行}且半鳴出身者ハ兵校ノ義務ナキト

精神思想内人ト曰ク^テ服従ノ觀念ニ乏シク面従

態^ニニテ^テ單ニ^ニ云^ク教^ヲ取^ラントシ中等學校ニ於ケル

教練^ノ識^ヲモ一般ニ低^シ以上ハキ情況ナルヲ以テ教^ヲ言

ノ善^ク及^ラ向^上ニ支障ヲ来スヲ大^ニナ^リ。

(B) 生徒教^ニ比シ教練教師ノ數ニ目下不足ニシテ其補^足

モ今日之於ス極メテ困難ナリ

ニ指導方針

昨軍教科書ニ明示セラレタリ目的達成ノ為至トシテ軍事基礎教練ヲ以テ心身一休ノ實踐鍛練ニ重キヲ置キ其者ハ

左ノ方針ニ基キ形而上下一般ノ指導方針ニ依テ如シ

(一) 軍令ニ賜ハラス 勅諭 若ク少年其ヲ聽ニ聽タラズ 勅諭ノ

御聖旨ヲ奉體シ國民皆兵ノモ義ニ則リ整正 嚴格

ニ訓練シ且剣戟刺刀氣力ヲ以テ訓練要綱ニ示サレテ

ル諸綱目ノ陶冶鍛練ニ努ム

(四) 學生中ニハ自由思想並利己主義ノ淺薄今尚現存シ

團體的責任觀念ヲ缺クシアルヲ以テ機會ヲ捉ヘテ

訓戒、獻身、體國、滅私、盡忠、精神ヲ振興シ國威
 情勢、國威ニ関テ理解ヲ深シニ氣節ヲ廉取シ
 精神、剛健ナル意志、氣風ヲ助長スルト共ニ責務ヲ
 自覺セシム

(ハ) 身体ノ強壯ハ精神ヲ陶冶ト共ニ將來國威ノ亮
 展ニ重要ナルニ鑑ミ、代々本誌出版ニ到ル迄歩距離ヲ
 増大ニ併セテ行軍力ノ養成ニ努ム

3. 吾人ノ善惡

(四) 一般ノ素質並基礎的動作不十分ナルモノ多キニ鑑ミ、術
 科ノ分隊教練以下ノ術科ニ意ヲ注ギ、其基礎的教習ノ
 徹底ニ努カス

(四) 教授力ノ不足ヲ補正スル為ニ生徒中ノ優秀者ヲ以テ國

定例ノ幹ヲトシ幹印教書ヲ行ヒ一般教書ノ向キ大補助
ニシテ

尚一般生徒ノ幹ヲ純カ向キ為ニハ漢字幹ヲトシテ交代
性ヲ揮クニシテ行フ

4. 教練ノ實施並ニ進歩ノ把握

(1) 精神教育

教練ノ関性ニ於テハ毎回務メテ注意等ニ注意スルニ實ニ補課

目ノ自以テ精神事項ヲ^{強調}強調シ學業ヲ圖ク又ニ終ルニ

於テハ其成果得ニ精神成果ニ至ラズニ置キ講評ヲ與ヘ

自覺体得ヲ確實ニシ精神ノ陶冶ニ努メテ結果一般ニ

精神緊張シ治業ヲ増シ且正體治ヲ初作ヲ現ハス

ニ至レルニ尚一ノ不十分ノ若アリ

四、
術科

(一) 基本各型及募集形態

第一、第二等年、第一等期ハ主トシテ各型ノ初作ニ重ク置
キ第三等年ハ随時各同科種ヲ實施セシガ一般ニ基キ初
作ノ下カナルモノ多ク第二等期ニ至リテモ時々ニテ實施
セラルヘカニ甘ん状況ナリ

募集教員ハ教員ノ前後ニ定ラセシ程度ニシテ十分ト認

ニ能ク概テ正整ニ思科後ナリ

(二) 採中形態

第一等年ニ對シテハ分隊内ニ種々ノ初作ヲ第二等年ニ對
シテハ分隊以下ノ初作ヲ第三等年ニ對シテハ分隊以下ノ初作
陸續ニ採示ナリ成程ヲ得ルニ各等年共ニ出席

不_レ宜_レ若_レ(病_レ急_レ痛)並_レ素_レ煩_レ不_レ十_レ分_レ高_レ向_レ上_レ也_レ廿_レ者_レ若干_レ

(三) 陣中勤務

野營時_レ控_レテ若干_レ教_レ言_レセ_レ止_レリ其_レ程_レを_レ極_レメ_レ低_レシ
指揮_レ也

一般_レ指揮_レ也_レ程_レを_レ極_レメ_レ低_レキ_レモ_レ素_レ急_レ良_レ好_レシ_レモ_レハ_レ令_レ治_レ

長_レト_レシ_レテ_レ概_レ不_レ良_レ敷_レニ_レシ_レテ_レ少_レ少_レト_レシ_レテ_レ其_レ要_レ領_レヲ_レ修_レシ
又_レ如_レ教_レ幼_レ平_レト_レシ_レテ_レモ_レ不_レ可_レナ_レシ

(五) 野外宿営

第三學年八月富士湖野河、第二學年八月相馬原
第一學年七月智志野原宿営ニテ各_レ四_レ日間ノ_レ宿_レ營_レヲ_レ爲_レシ

敵内生活ハ軍隊内務ニ則リ教正ト共同生活ヲ行ヒ規律
節制ノ習性ヲ養ヒ昼ヨ教習ハ力防以下ノ戦中教練ニ重ク
ヲ思ヒ夜ヨハ陣中勤務中夜哨以下ノ初作並作務ノ動作
ヲ訓練シ若シ夜ヨ行動ヨリ昼ヨ戦中ニ移ル中隊ノ拂
曉戦中ヲ行ヒ突撃時ヨ一日八時ヨ乃至十二時ヨニテ堅忍
持久ノ氣力鍛練ト共ニ体力ノ養成ニ着意シ時局即不
ノ修養ニ資シ概テ所期ノ成果ヲ得タルニ至ルニ至ル
素行不良ノ者多キヲ成案不十分トシキ

(六) 射撃

狭窄時ヨリ第一号ヨリハ二回他ハ各一回 実包射撃ハ
各号年共ニ各一回實施セリ

二、勅令ノ概況

9

若締し

蓋し七月ノ早帰者九月ノ慶歸亭ノ凡ハ傳統的
一惡風習上云フヤリ得来ハ自覺シ性ニ改善スル
ヲ要アリ

(四) 専門印ニ於テハ夜ヲ就職ニテ其業ノ教ヲ自
勉中フ、其勉學之勤勉力行ノ學徒ニ示シカラス

中央大學用箋

20134185

9

116

區分	授課年	授課時間	授課日期	俸給額	年齡	官名
配屬學校	各	每週八時	昭和 一五、四一	九十月	五八	陸軍大佐 松山司久吾
教諭教師	各	同上	一六、四一	七十月	五三	陸軍中尉 丹澤直三
同	年	同上	一四、九六	七十月	四二	陸軍少尉 藤間駿阿
同			一三、三三	八十月	四五	陸軍中尉 長峯慶四郎

備考 教授要目、政令、依り、每週授課時數、八十二時、增加
 2000 10 10